



発行所
全国曹洞宗青年会
〒106-8504 東京都港区芝2-5-2
曹洞宗宗務庁内
発行責任者 寿松本宏毅
編集責任者 東井千明
TEL 03-3454-5411

目 次

○環境問題特集 -その7-	
※地球交響曲 ガイアシンフォニー 第二番の御紹介	1
※札幌市 浄国寺様護持会報より	2
○ボランティア活動に関するアンケート	3
○教えられなかった戦争・沖縄編	6
○インターネットの世界をのぞいてみよう -その7-	7
○紙上研修「利他行」(8)	8
-太田久紀 先生-	
○花まつり特集	
※花まつり事業の現況 全曹青会長 寿松木宏毅	10
※「花まつり」事業内容と今後について「愛知第1青年会」の御紹介	12
※曹洞宗長野県第一青年会 創立三十周年記念	13
花まつりファミリーコンサート無事円成	
※花まつりアンケート集計結果 総合企画事業研修委員会	14
○禅文化学林 北海道大会 全曹青副会長 高階弘昭	17
○全日本仏教青年会 全国大会 IN 神戸	18
※第二分科会テーマ「救い」 福岡曹青会長 山田哲也	19
○岩手曹青「聞いてわかる檀信徒法要回向集」の御紹介	20
○編集後記	22



SUIJUNDO

位は莊嚴5理
 仏壇 集雲堂
 仏具 雲堂

本店 東京都台東区元浅草4-9-14 TEL03(3842)0201

支店 稲荷町店・稲荷町駅前店・上野駅前店・等々力店

砧店・横浜店・大宮店・船橋店・松戸工場

☆環境問題特集—その7—

あの鐘の音を、

あなたは聴いたことがありますか。

割れた雲のすき間から、

黄金の光とともに、

あなたの上に降り注いでいる、

あの鐘の音を。

ガイア

地球の音が、

きこえますか。

イルカ達も、E.Tも、

梅干しも、山の雪も、

あの鐘を打つ者が誰なのか、

もうとっくに知っています。

心で聴いてください。

地球交響曲。

地球交響曲

ガイアシンフォニー 第二番

〔同、パンフレットからの御紹介〕

“もし、母なる星地球が本当に生きている一つの生命体である、とするなら、我々人類は、その“心”、すなわち“想像力”を担っている存在なのかも知れません。

現代の地球の環境問題は、良い意味でも、悪い意味でも、人類の“想像力”の産物だ、と言えるのです。

だとすれば、危機が叫ばれるこの地球の未来も又、人類の“想像力”すなわち“心”の在り方によって決まってくるのです。

この映画は、二十一世紀の到来を前に、地球の未来にとって、示唆にあふれたメッセージをもつ人々のオ

ムニバス映画です。登場人物はいずれも、現代の常識にとらわれず、素晴らしい未来を築きつつある人達です。

今生きている我々ひとりひとりが“心”にどんな未来を描くかによって、現実の地球の未来が決まってくる…。

一九九二年に公開された「第一番」は、全国各地の観客自身による活発な自主上映活動に支えられ、九四年末には、全国四百ヶ所二十五万人動員をはたしました。ひとりひとりの心のネットワークによって自然発生的に拡がっていったこの上映活動は、この映画のテーマ「人の心は無限の可能性を秘めている」を現実の実証している姿だと思えます。

このガイアネットワークの力によって「第二番」が完成しました。

映画「地球交響曲」が、全ての人々の“心”のための元氣菜になれば、と願っています。

龍村 仁

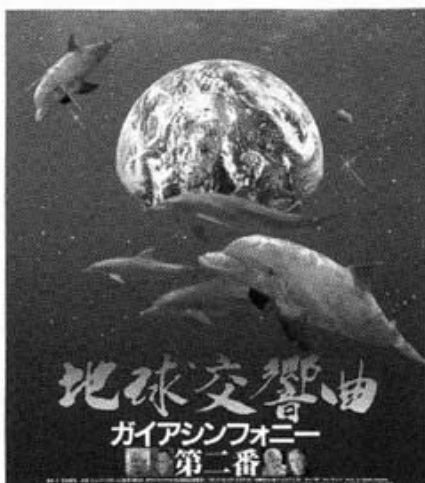
●私たちが毎日の生活で食べているもの、見るもの、聞くもの、全て母なる大地からのいただきもの。まるで、私たちが必要とするものを、どうぞ、持っていて、と言っているみたい。朝日が昇る時には、笑顔になったり。夕陽が沈む時には、その美しさに見とれて、ため息がでたり。私たちのお母さんはさりげなく色々なことを与えてくれるのね。こんなに貴重な体験をさせてくれたお母さん、これからちゃんと親孝行したいな、と感じさせてくれたのがこの映画。

早見

優同、パンフレットより

●毎日、時間に追われ、いろんな人に会い、いろんな仕事をしていくうちに、いつのまにか、ゆつくりを無くし、気がつけば自分自身さえ無くしている時があります。ゆつくりと人の話を聞き、ゆつくりとそれに答える。そういう基本的なやさしささえ無くしている時があります。この映画は不思議な映画です。知らぬまに心に付いてしまった垢を、まるで綺麗な水で洗い流すかのように、さつと落としてくれる。「心を浄化してくれる」そんな映画だと思えます。心が疲れたとき、僕はまたこの映画を見たくありません。

藤井フミヤ(同、パンフレットより)



☆環境問題特集 —その7—

—札幌市 浄国寺様護持会報より—

地球交響曲

—ガイアシンフォニーの御紹介と御案内—

上映会
日時 三月二十一日(日)
午後一時半
場所 浄国寺 本堂
無料上映

昨年にひきつづき、お彼岸会法要終了後本堂にて、龍村仁監督の「地球交響曲」第二番の上映をいたします。この映画は、オムニバス形式で、出演は佐藤初女、ジャック・マイヨール、ダライ・ラマなど四人。出演者それぞれの生きざまから、地球のいのちと人のこのころとは何かを問うご家族皆さままでご覧ください。

「人間は知性をもっているがゆえに様々な矛盾した心をもっています。それは必ずしも悪いことではない。自然界では互いに対立する力がおのずとバランスを取り合っています。この仕組みは私達の体でも、小さな草花でも、宇宙の運行でも同じことです。各部分が自由に働きながらバランスが取れているとき、全体はいきいきと活動します。ところが、一度このバランスが崩れると、ひとつひとつの力が敵対しはじめ全体と

しての異常や混乱が起きるのです。

しかし、人間はこの素晴らしい知性があるからこそ、遠い未来のことを思い、計画し、変革していくことができるのです。ただ、その素晴らしい能力が建設的に使われるか、破壊的に使われるかは、その人が心の奥底に秘めている動機や意図によって決まってくるのです。だから、心の動機・意図が実は最も大切なものです。」

チベット一四世ダライ・ラマ法皇

浄国寺・高橋浄英住職様では、すばらしい会報を発行されております。御協力有難うございました。

※なお、別紙にて全国の上映予定を掲載いたしました。

また、お問合わせは、
梅オンザロード

☎〇三(五七七)二〇四一

谷口法衣仏具店ならではの…

技の粹

御法衣、御袈裟、御仏具、
荘厳具、記念品



両大本山御用達 曹洞宗専門

株式会社 谷口法衣佛具店

〒606 京都市下京区高辻通経路町東入
電話 京都075(355)9741代
FAX 京都075(355)9692
梅花講御指定販売店

ボランティア活動に関するアンケート

1. 貴曹青では、現在ボランティア活動に携わっておられますか。または、取り組む予定がございますか。

- ①活動している：14 ②活動を予定している：0 ③今後取り組みたいと思う：9
④活動の予定はない：5 ⑤支援のための資金作り：1

2. 問1で①・②と答えられた曹青では、どのような活動をしていますか。

海外

- ①海外学校建設支援：5 ②海外図書支援活動：0 ③海外教育奨学金支援：4
④クラフト販売：5 ⑤少数民族支援活動：1 ⑥その他国際支援活動：1

国内

- ⑦災害救援活動：6 ⑧環境問題活動：2 ⑨清掃美化活動：0
⑩障害者介助活動：2 ⑪青少年支援活動：3 ⑫老人福祉活動：1
⑬ビハラー活動：2 ⑭講演会・イベント活動：5 ⑮その他の活動：4

3. 問1で、①・②と答えられた曹青では、どのような活動なのか具体的にお書きください。

- ・スリランカイーハトープ幼稚園（岩山曹青）
スリランカ国中に幼稚園を開施。今年度は、送迎バスを寄贈する予定。お金の補助。
- ・障害者施設での協同餅つき（宮崎曹青）
- ・SVAクラフト販売（西湘仏教青年会）
タイ・カンボジア・ラオスに小学校を寄付しよう。管内梅花大会や会員の寺院での施食会に参加。
- ・タイ山岳少数民族の教育と学生寮運営の支援活動（山口曹青）
- ・全国車いす駅伝競走大会（京都曹青）
「車いす駅伝」参加者の到着から出発までの介助を中心に、車いすの輸送の手伝い等も行っている。
- ・SVA（京都曹青）
SVA活動の一環として、緑蔭秋冷禪等でのクラフト販売や北朝鮮米支援、奉詠大会での募金活動。
- ・SVA（福島曹青）
青年会の予算に毎年「ボランティア金」の予算を立ててSVA活動に役立てている。
- ・サンタピアアップみやぎボランティア会（宮城曹青）
書き損じハガキの回収を全国に呼びかけ、ハガキでの収益をカンボジアの小学校建設の資金としている。
- ・カンボジアの子供たちに学校を贈る運動
山形曹青30周年の記念事業としてスパイクエン州スパイチュムに小学校を建設。
- ・曹洞宗長野県第一青年会
ボランティア委員会が企画したオリジナルTシャツ販売・バザー等の収益を災害被災地へ寄付金として送金。または地元の施設へ車椅子の寄贈に役立てている。その他、毎年2回ボランティア講演会を開催。
- ・ボランティアれんげ（奈良曹青）
奨学金支援：プラティーノ財団へ 歳末托鉢：その地区の福祉課へ
- ・茨城県縦断交通事故犠牲者慰霊行脚
県縦断（150km）洞門寺院に宿泊し、6泊7日で完歩。事故発生日で慰霊。いただいた浄財は、交通遺児に寄付。

- ・ボランティア托鉢（石見曹青）
毎年4回（4地区）托鉢をして、寄せられた浄財をSVAに寄進。
- ・東南アジア（タイ・カンボジア）教育支援バザーおよび水害などの見舞い寄付金とする。
SVAタイ：カンボジア事業後方支援。宗務所内寺院にお願いしてバザー用品を提供して頂き祭り会場にて販売、売上金をSVAに送る。
曹青Tシャツの販売。宗教所内に百歳の老師が居られ長寿の記念に揮毫して頂いた文字をTシャツに、1000枚を販売中。
- ・緑蔭禅の集い（紀伊仏教青年虚空会）
夏休み中に小中高生を中心に近くの寺院であるいは本山などへ出かけ1泊または2泊3日での研修旅行をしている。（10年度は会員減少のため実行できず）
- ・年末助け合い托鉢、バザー（紀伊仏教青年虚空会）
三重県熊野市内を会員全員で托鉢しそのお金を募金している。
- ・浜松所「ふれあい広場」におけるバザー（静岡第4曹青）
宗務所内の寺院からバザー用品を提供してもらい、「ふれあい広場」において販売。収益金を福祉課に寄付する。
- ・SVAラオス謄写版支援
ヌンソンサン浜松と協力して現地で謄写版を製造する事業を支援している。

4. 問3の活動内容を他の曹青に紹介してもよろしいですか。

- ①はい：12 ②いいえ：2 ③無回答：15

5. 他の曹青の活動内容やノウハウ等の情報・援助を必要としますか。

- ①はい：14 ②いいえ：9 ③無回答：6

6. 問5で①と答えられた曹青では、特にどのような情報・援助が必要ですか。

- ・福祉（老人に限らず）：救援；その他
- ・災害救援活動では、迅速性が要求される。具体的な方法が知りたい。（活動拠点場所の立ち上げなど）
- ・現在山梨曹青では諸事情により年1回歳末募金活動をするのみですが、各会員は何らかのボランティア活動をしたいと考えています。そこで各自の持つ仕事にあまり差し支えない程度で可能な活動を今後協議して行くつもりですが、他の曹青がどのような活動をしておられるのか紹介していただければありがたいと思います。
- ・情報のみ
- ・他曹青の活動を知りたいと思います。共通する活動があれば協力：情報交換したいと思います。当方のオリジナルTシャツの販売も拡大したいと思っています。
- ・すでに宮城曹青さんより、チャリティーバザーのノウハウの指導を得てバザーを催した。
- ・講演会講師リスト
- ・現在当曹青では、特に継続しての活動体制にはありませんので、種々参考にしたいと思います。
- ・宗門の内外を問わず、現在活動中のボランティア団体の連絡先あるいは、その名簿。
- ・災害救援活動について。
- ・活動内容
- ・成功例や失敗例

7. ボランティア研究委員会が、貴曹青のボランティア活動に研修として参加させていただいてもよろしいですか。

①はい：9 ②いいえ：5 ③無回答：15

8. 貴曹青が連携をとられている団体などがありましたらその団体名をお書きください。

- ・茨城県社会福祉協議会 ・近畿曹洞宗青年連絡協議会 ・マイトリーしなの ・SVA
- ・全国の曹青有志 ・宮城県内の22の団体 ・京都ゆめネットワーク
- ・京都車椅子青年ボランティアネットワーク ・シャンティ山口（NGO） ・ヌンソンサン浜松

9. その他、ボランティア研究委員会に対するご質問：ご意見：アドバイスなどございましたらお書きください。

- ・会報で様々な活動が紹介されると良い。
- ・青年僧侶といっても各自自坊があり災害支援活動一つにしても寺を空けて活動を依頼できないのが実状ではないでしょうか。当曹青でも神戸に何度か足を運びましたが数名の協力では何もできません。その為に以後災害に備えてボランティア支援の活動費を備蓄する活動に換えています。
- ・アンケート等は、大変良い事とは思いますが、情報収集等にはもっと時間をかける必要があると思われる。曹青という団体の性質上、半月の間では少し短期すぎるように思われます。
- ・今後は、ボランティア活動が重要になってくる。情報収集：交換も確かに必要です。しかしボランティアは机上の空論ではなく実践です。菩薩行：利他行：布施行（身施：心施等）。今宗教は、社会性が問われている。変革していくのは、青年僧侶の徹在した志と実行にかかっている。
「仏道に順ぜん者は、興法利生のために、身命を捨て諸事を行じ去り」（随聞記2-17）
- ・今、新潟曹青は再構築の時を迎え、内部充実を計るべく少々時間が必要かと存じます。当面、全曹青に対しましてのご協力を割くことができかねるか存じます。御理解賜りたく宜しくお願い致します。
- ・ボランティアは、研究：調査も大事だが実践あってこそ有意義なものなので、4年間の成果として何か活動しましょう。協力はおしみません。期待しております。
- ・今後ボランティア活動に取り組むために、他の曹青がどのような活動をしているか具体的に知りたい。
- ・全曹青では「単位曹青活動の報告集」を過去3回出版しているが、その中のボランティアに関する活動内容をもっと詳しく取り上げて、広報紙「そうせい」の中で各活動ごとに紹介してはどうでしょうか。

有限会社



草 桶

法衣仏具店

〒616-8322

京都市右京区嵯峨野芝野町35

TEL 075(862)2345 FAX 075(862)2356

フリーダイヤル 0120-88-3992

教えられなかった戦争・沖縄編

作品賞に「教えられなかった戦争・沖縄編」

キネマ旬報
ベスト10

「HANA-BI」が1位

※沖縄タイムス1/7より掲載



高岩さん初受賞喜ぶ

阿波根さんの平和運動評価

映画専門誌のキネマ旬報は六日、昨年劇場公開された映画のベストテンと各賞を発表した。

日本映画の一位はベネチア国際映画祭でグランプリを受賞した北野武監督の「HANA-BI」。主演女優賞は「愛を乞うひと」の原田美枝

子さん、主演男優賞には「カンゾー先生」の柄本明さんが、それぞれ選ばれた。

外国映画の一位はカーティス・ハンソン監督の「L・A・コンフィデンシャル」。「タイタニック」は四位だった。

【伊江】文化映画作品賞には、伊江島の阿波根昌鴻さん(九五)を取り上げたドキュメンタリー映画「教えられなかった戦争・沖縄編」が選ばれた。製作者の高岩仁さん(六三)は「作品そのものというより、阿波根さんの平和運動が評価されたと思う。うれしい」と、初受賞を喜んだ。

映画は、阿波根さんの個人史を中心に、伊江島土地闘争や基地問題の軌跡を追った。高岩さんは、時に伊江島に住み込みながら三年がかりで製作した。

「今の体制を批判する映画なので、受賞はあり得ないと思っていて」と驚きを隠せない様子ながら、「阿波根さんがとても喜んでくれた。私の

映画製作を支えてくれた人々のためにも良かった」と話した。

『沖縄タイムス』一月七日より

なお、記録映画「教えられなかった戦争・沖縄編」の十六ミリ映画・ビデオのお問い合わせは

映像文化協会

〒224-0061

神奈川県横浜市青葉区桜台4-48

お申込みはFAX又はハガキで

045-981-0918・045-982-0507

(お問い合わせ)TEL 045-981-0834

〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具



株式会社 安藤

〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入ル

法衣部 ☎0120-29-8161

仏具部 ☎0120-29-8165

贈答品部 ☎0120-29-8168

FAX(075)525-2070番

東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15番2号

☎0120-3232-09

FAX(03)3454-3251番

福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7

☎0120-2143-22

FAX(092)291-2144番

本
社

☆今話題のインターネットとは??

インターネットの世界を のぞいてみよう! (その7)

さて、連載も7回目を数えました。ここ横浜の地は例年より早く桜も散ってしまいました。窓の外に広がる新緑を眺めながらこの原稿を書いています。今回は進歩しつつある技術をもってどのようなことが可能であるのかを考えてみたいと思います。

全曹青の放送局をつくってみる

タイトルを見て、そんな大げさな//と感じた人は居ませんか?

インターネットの世界では、このようなことを個人レベルで、しかも格安に実現する事が可能になります。

今までいろいろとインターネットの世界をのぞいてきましたが、インターネットが広がり始めたばかりの頃は単なる「文字」の情報が殆どでした。それが、時を追うごとに「画像」が加わり、それが「コマ送りのアニメーション」になり、さらには「音声」や「ビデオ」といったものを流す事が可能になっています。

その背景には、パソコンの高性能化はもちろんですが、インターネットの基盤整備が格段に進んだ事、ファイルの圧縮技術が高まったことが大きな要因として挙げられます。

特に「音声」や「ビデオ」といった情報はとても膨大(例えばデジタルビデオの情報量は毎秒何メガバイトといった具合)な情報ですから、これらをそのままの状態ですべて送ったのでは、回線がパンクしてしまいます。ところが、近年の圧縮技術によって、元の大きさの百分の1にまで圧縮するといったことが可能になりました。

圧縮すると、当然元の品質に比べてかなり劣化してしまうように思えるかもしれませんが、可逆圧縮という技術では元の品質そのままに半分位のファイルサイズに圧縮する事が可能になります。ネット上でのソフトウェアの配布は、可逆圧縮を行い、出来るだけ通信時間を短くするように工夫しています。

もし、品質を落としても構わないというのであればいくらかでも圧縮可能なのですが、なるべく品質を落とさずにどれだけ圧縮できるかが技術進展に係る問題になる訳です。

さて、全曹青のホームページでも圧縮技術を利用して、法話やビデオを流しています。

音声情報を例にとれば、3分程度の法話ならばフロッピー1枚に収まってしまふほどに圧縮しています。これのファイルをインターネット上で利用できるようにするのが、ここでもう1つ「ストリーミング」というテクニックを使います。

普通、ファイルは全部の情報を読込まなくては利用できないのですが、「ストリーミング」は読んだ分だけ「逐次」再生していくという技術です。

3分で1.4メガバイト(約1400Kバイト)とすると、1秒あたり $1400 \div 3 \div 60 = 7.77\dots$ つまり毎秒約8Kバイトということですから、大抵のインターネット環境でファイルの転送速度が再生速度を上回る事になります。このことは、即時に音声再生され、それが途切れることなくスムーズに再生されていくということを意味します。

全曹青の法話のコーナーで、実際に試聴された方も多いたと思いますが、よほど回線状態が悪くない限りすんなり法話を聴くことが出来たと思います。

ファイルを圧縮したり展開したりするソフトウェアは無料で配布されています。また、音声やビデオを「録画」したものを流すのではなく、「ライブ中継」する事も簡単に実現可能です。最近ではコンサートや皆既日蝕を中継したりといったことが話題となっています。

このように、①コンピュータの高性能化、②インターネットの基盤整備の拡充、③ファイル圧縮技術の進歩といったことにより、個人レベルの放送局が開設できるようになりました。今後数年は技術の進歩から目が離せないと考えています。次々と夢のようなことが実現できるようになるのですから。

連載

利他行

八、「一箇半箇の接得」



元駒沢女子短期大学教授 太田 久紀

Gさんは、年に一、二度、近況報告にやっつけてきて、檀務の実践から得た新鮮な感想を聞かしてくる。

今年も、利他行は好きでない、という感想だった。

利他行というのは、うっかりすると人々の受けを意識してお祭り騒ぎになってしまい、しかも有義なことをなし遂げたという錯誤の自己満足感のようなものを持ってしまふことがあるからだという。

真摯な反省の一つだと思う。

私は、唯識といえば、内面性とか個人性などの傾向が強く、利他行の一面は薄い仏教と思っていた。ところが経論を読むと至るところに利樂有情の実践が強く求められている。

それに気がついたのはそう古いことではない。

空を会得する根本智から利他行を展開する後得智へ、第八地の沈空から第九地の自由自在な説法へとという展開などはそのハイライトである。

ではなぜ利他行がそんなに尊重されるのか。一言でいえば、仏教・唯識の根本は、縁起の真理を生きたことだからである。

縁起とは、多くの条件の出会いをいう。つまり他者との共存が前提となっているのだ。他者と自分との出会いによってわれわれの人生は成立している。縁起の会得は利他行の展開と一体なのである。自利・利他と分けるのは間違いないのだ。自分の入いのち▽と他の入いのち▽は相互にかかわり合い助け合って生きていく。自利利他はそれをあえて二分して示したもの。

自利が本物であれば利他は必ずそ

こに働いているし、利他がなければ自利は深まらない。自利利他の入いのち▽を生きたこと、それが縁起の正理を生きたことである。

唯識は縁起について「三性説」を説く。三性とは、依他起性、遍計所執性、円成実性である。

依他起性（えたきしょう）とは、この世のすべてものは、他に依って存在するもの、すなわち縁起だといっておさえである。私という入いのち▽の存在も、そこに展開する認識も、多くの条件の出会いによって完成している。

三性説はその依他起性の真理に覚醒するのを円成実性（えんじょうじつしょう）といい、それに気づかず、縁起の事実を歪曲して固定化・実体化するのを遍計所執性（へんけいじょうじつしょう）という。道元禪師のいわれる「私曲」（私意によって歪曲する）のかたまりである。

依他起性とは存在の事実、それを真ん中にして、一方は遍計所執性と結びついた「迷」の人生、一方は円成実性と結びついた「証」の人生である。

選ぶのは、二つに一つ。その三性の根本になるのは依他起性であるわけだが、その言葉自体が

示すように、「他」の存在が前提となっている。利他行は欠かせない。

「瑜伽論」二十九には、利他行の

代表の布施波羅蜜が述べられている。

その一部を意識して紹介しておく。菩薩は自分の身・財を惜しむ事なく、一切、施す。身と語の行為において戒を破らず、因果・縁起の真理に立って、その会得のための智慧を施す。

二、無差別に施さない。衆生を安樂

ならしめ、衆生のために利益と

なるものを施す。安樂にせず利益

益にならぬものは施さない。

三、正気を失い、乱心で布施を望ん

でも、その者には施さない。

四、毒・火・刀・酒等、他を害する

危険性のあるものは、施さない。

五、人を享樂的にするものは施さない。

六、寶石・衣服・樂器など、信心を

起すために使うならば施す。

七、怒りを持ったり、何かの企みを

持っては布施しない。

八、名声や賞賛を得るために布施し

ない。

九、もともと彼のものであったもの

十、施さないというのも布施である。

また、

- 一、時を失することなく施す。
 - 二、執着しないで施す。
 - 三、布施のために溜め込まない。
 - 四、高慢な気持ちで施さない。
 - 五、名声・賞賛を狙って布施しない。
 - 六、心淨らかに毅然として施す。
 - 七、勝れたものを施す。
 - 八、依怙鼻息しない。
 - 九、恩にきせない。
 - 十、報いを考えない。
- このように布施行について述べているわけだが、菩薩行のなかで対称的な位置にある静慮波羅蜜はどのようにならなければならないのか。
- われわれが利他行について考える時に持つ疑問の一つは、利他行の坐禪とは何かということであろう。
- 『瑜伽論』四十三日には、七十近い静慮波羅蜜が説かれている。その全体については直接『論』を見ていただきたいが、利乗有情に関連するものの幾つか紹介しておく。
- 静慮波羅蜜全体を三種にわけて、
- A、現法楽住の静慮（自受用三昧）
- B、等持の功德を引く静慮（証上の修）
- C、有情を饒益する静慮（利他行）とし、その具体相を列記している。
- 一、有情の行為を助け同伴者となる静慮。

- 二、道理にしたがって法を説く静慮。
 - 三、恩を忘れず恩に報いる静慮。
 - 四、不安感や恐怖感を助ける静慮。
 - 五、身近なものの死を哀しんでいる者を哀しみから解放する静慮。
 - 六、貧しい者には資材を与え。
 - 七、善きことは護り。
 - 八、有情の心に柔軟に従い。
 - 九、徳あるものは賛嘆し。
 - 十、過ちは正しく調伏し。
 - 十一、神通力を現じる。
- さらに遠求静慮という項目では、
- 一、毒薬や霜や雹の災難から衆生を救う呪術の依り所となる静慮。
- 二、衆病を除く静慮。
- 三、飢饉等の天災を助ける静慮。
- 四、種々の人間の行為と、自然への恐怖とを救う静慮。
- 五、食物に乏しい荒野の衆生に、食物を与える静慮。
- 六、財産の乏しい衆生に財を与える静慮。
- 七、放逸の衆生をたしなめる静慮。
- 八、有情において正しく生きること

をなさしめる静慮。

これで見ると、ここに説かれる静慮は実に行動的である。現実世界を捨離した孤高の境地などではない。

布施行ともまごうような他への積極的・行動的・具体的な行為と考えると

れていることが解る。自利・利他行は相即相容している。

もつとも唯識という静慮は、心の純粹無雜の働きであって、結跏趺坐そのものを指さないから、こういう言い方もできるといえる。

先頃、職場で、理解されず苦しんでいるという方から不満とも嘆きともとれる電話があった。

それに対して私は力づける言葉の一つも話すことができなかった。

利他行とはお祭り騒ぎではない。一箇半箇の接得ではないか。

眼前に仏法を求め人がいるのに、何もできぬ利他行はない。

恥かしいことだが、最近の大きな反省の一つであった。

(おわり)

太田先生には、二年間本当に御世話になりました。厚く御礼申し上げます。



著者紹介

太田 久紀 (おおた きゆうき)

昭和3年3月 鳥取市に生まれる。

昭和26年 駒沢大学文学部仏教科卒業。

仏教学・唯識学専攻。

駒沢女子短期大学教授。

駒沢大学仏教学部講師。

薬師寺唯識学寮講師。

主要著書

「修証義にきく」「求める心」「仏教のこころ」(曹洞宗宗務庁)

「凡夫が凡夫に呼びかける唯識」(大法輪閣)

「お地藏さんのお経」「随想 宿香界」「選註 成唯識論」

「唯識三十頌要講」「成唯識論要講 全三巻」(中山書房仏書林)

「深き流れのように一ほとけの心を識る」(毎日新聞社)

「仏教の深層心理」(有斐閣)

「観心覚夢金鈔」(仏典講座・大蔵出版社) など

花まつり事業の現況

全国曹洞宗青年会会長 寿松木 宏 毅

全曹青の花まつり事業は平成三年に始められました。意図するところは「弔事から慶事への仏教」と「生きる支えの宗教」を多くの人々にアピールすることでありました。

全国各地で行われている花まつりを全曹青として支援し広めていこうという活動と並んで、地域に向いて花まつりをアピールしてきた経過があります。これらの種々の積み重ねの中で今期主眼に置かれたことは降誕会の意義である「人間の尊厳に目覚めること」であります。言いかえれば「生かされている生命のありがたさに目覚め、そこから生じる信仰心を深めながら、社会に敷衍していく」ことであります。また委員会

の中では全国各地で行われている花まつりのアンケートをお願いし資料の収集とその提供に努めております。加えて現在宗門が推進している「人權、平和、環境」のテーマに沿った活動を展開しております。

たとえば平成九年度事業として東

京都東村山市にある国立ハンセン病療養所「多摩全生園」を訪問することになったのです。そこで花まつり法要と慰霊法要そしてハンセン病の歴史にふれ、「いのちの尊厳とは何なのか、生きるとはどういうことなのか」といった問題を私たち自身が強く意識する機会となりました。

さらには平成十年度事業としてだれもが関心をもっている環境問題に視点を当てております。そこで当然曹洞宗が推進しているグリーン・プランすなわち生命の尊重・自然との共生を視野に入れた花まつりをアピールしていくことにしました。具体的には三仏忌の今日的な意義とグリーン・プランが意図するところを記したパンフレットに「花の種と甘茶」を添えて、一人一人に手渡しする活動を行なっております。

こうしたことによって花まつりの中に環境問題解決への道も開かれていくことがはつきりするでしょう。これらの活動を神戸での震災法要、

札幌での禅文化学林など一般の方々の交流の場において努めてまいりました。

最後に今日の仏教に求められていることは伝統的な仏教行事を守っていくと同時に、社会や地域が抱えている日常の諸問題を共に学び解決していく道を見いだすことであります。こうした活動を通じて宗侶自身の宗教性がより純粹になり、より根源的になることが私たちの課題であると考えております。

如何是仏？
ほとけさまって
どんな人？



☆次頁へ、三仏忌のわかりやすい説明を掲載しました。皆様ノ工夫して教化活動に御利用下さい。

四月八日 「ご誕生の日」 降誕会（花まつり）

お釈迦さまのお誕生日です。

紀元前四六三年に無憂樹の赤い花咲くルンビ二園で

お生まれになりました。

その時のお姿が誕生佛です。

たくさんさんの花に囲まれて

感謝の心を育てましょう。



二月十五日 「ご命日の日」 涅槃会

紀元前三八三年二月十五日クシナーラの

沙羅双樹の下でお釈迦さまは涅槃に入られ

ました。（お亡くなりになりました）

悲しみの場面が涅槃図です。

たくさんさんの花に囲まれて

真心を育てましょう。



仏さまの3つの
記念日!!
御活用して下さい

十二月八日 「お悟りの日」 成道会

紀元前四二八年、明けの明星輝く頃、ブツダガヤ一の菩提樹

の下で坐禅修行の中、命の尊さに

目覚められ、豊かに生きる智慧を

お悟りにされました。

たくさんさんの花に囲まれて

智慧を育てましょう。



お釈迦様の履歴書

父親	スッドーダナー王	
母親	マーヤー夫人	
誕生日	紀元前463年4月8日	
幼名	シツタルダ太子	
出生国	カピラ国	
	(現在のネパール国)	
出家	紀元前434年	29歳
お悟り	紀元前428年12月8日	35歳
命日	紀元前383年2月15日	80歳

「花まつり」事業内容と今後について

今回は、愛知第一青年会の「花まつり」事業を取り上げて報告します。その主な特色は、まず

- ①一単位曹青で運営しているということ
- ②会場が繁華街の催事場（松坂屋）であるということ
- ③こども絵画展併催しているということ
- ④甘茶を配ること

このような点が上げられます。

その内容を簡単に説明すると全日程は、大体四月の第二週土曜日を含む三日で行われ、

第一日目は、夕方より会員が、集まり当日参加者に配布する記念品（甘茶ティーバック、ふうせん、花の種、花祭りの由来を書いたもの等）を二日分で二千個袋詰めし、お子さん用には「花まつり」布教用のパンフレット、こちらは、宗務所に申請して幼児用花まつりの塗り絵三千部ほどわけていただきます。そして、会場のセッティングは松坂屋の営業時間終わる午後七時より器物の搬入、まず花御堂（花御堂、誕生仏、灌仏用の甘茶は借用したり、購入したりして用意）を設け、花御堂前に拈華流の協力にて献花一対し、併設して開催される「花まつりこども絵画展」の準備、入選作品（五百枚程度）展示いたします。（曹洞宗愛知県第一宗務所保育連合会の協力にて、毎年二十五園の保育、幼稚園に各々十五点前後五百枚の応募を募り実施、子ども絵画専門家による審査を行い特選より入選の各賞に表彰状と賞品贈呈、画題は、「はる」または「はな」とし、おしゃかさまの誕生をお祝いするとともに関心をたかめる意味で行います。）あとは、仏教、仏

事の相談コーナー設置します。

第二、三日目は、会員は改良衣に絡子にて、大体、土、日曜日の松坂屋の営業時間午前十時より午後七時に行われます。土、日のデパートで



あるので子供づれの家族などで一番にぎわっているときであり、その花まつりに観に来た人、買い物に来た人など色々な世代を対象に甘茶試飲コーナーの設置した甘茶を飲んでいただき、記念品を配り、そして、灌仏おまいりしていただきます。会員たちは、甘茶でどのようにおまいりするかをおしえながら「花まつり」がどのような行事であるかをお話し

ます。また、仏教、仏事での疑問がある方には、会員たちが精一杯お答えしております。そして、日曜日の午前中には宗務所所長など数々の来賓を招き「花まつりこども絵画展」の特選者五十名ほどの表彰式を行います。そして、二日間にわたり会員による朝夕のおつとめをいたします。このような流れで毎年「花まつり」事業を行います。

しかし、継続にあたって今日いくつかの問題点も上がっています。

●これだけの大事業は一単位青年会だけでは予算的にも大変である。

●曜日が、土日ということもあつてほとんどの会員が似たような時刻に相務で集まらなかつたりである。

この中で昨今全会員に今後の「花まつり」事業の展望についてのアンケートを取りましたのでその内容を報告したいと思います。

その意見をまとめると今まで通りの「花まつり」ではいけないのではないか？という各会員も意識が得られました。

その中で特に目を引いた意見を上げると、

●まず規模を縮小して法要のみを行う。

・時間制にして会員みんなが参加しやすいようにする。
 ・甘茶をくばることに必死になってその宣伝みたいになっている。
 ・せっかく絵画展を開催しているのだからそれに関連して講演会などを行う。

・茶会、托鉢などを併用して行う。果たして、どのような形が、今日の「花まつり」の形態として合っているのでしょうか？

ただ、法要だけ行っていれば良いのでしょうか？

しかし、現実には人々の宗教離れ、不信感も大きくなってきていることも事実です。その中で、「花まつり」という事業は確かに仏さまを認識してもらい、私達僧侶が人と触れ合う絶好の機会であります。やはりこの機会を大切にいくことが私達青年僧の役目であり使命であると思えます。



曹洞宗長野第一青年会 創立三十周年記念

花まつりファミリィ

コンサート無事円成

曹洞宗長野第一青年会（大谷俊雄会長・一・二名）は創立三十周年を記念して東南アジア教育支援を目的とし、上田市教育委員会、上田市社会福祉協議会等の御支援をいただきながら「花まつりファミリィコンサート」を三月七日上田市民会館に於いて開催された。

当青年会も創立三十周年を迎え、我々一僧侶（青年僧）が白鷺・昂揚・社会への貢献と同事すなわち共生（ともいき）の考えにもとづき、今何をすべきかを考え、このコンサート事業の収益金（指定席料等）を学校へ行きたくともかなわない東南アジアのこどもたちの教育支援として役立たせていただくこととしました。

具体的には皆様から御協力いただいた貴重な浄財（収益金等）はSVAを通じてタイのシーカー・アジア財団に「曹洞宗長野第一青年会東南アジア教育支援金」として託され

ます。財団はこの基金を銀行に預金しその利子を用いて、就学支援に活用されます。タイでは現在約百万円の基金で三名のこどもの支援になることである。

また助長野県児童福祉施設連盟の御後援もいただき施設のこどもたちを御招待し一緒に楽しんでいただくことも目的とし、七施設のこどもたちと引率の職員含めて約百五十名様を御招待させていただきました。



坂田さん

当日、開演時間の少し前から雨が降り出すという悪天候にもかかわらず招待者を含めて千人を超える親子連れで一杯となりました。

コンサートに先立ち実行委員長より趣旨等の挨拶、引き続きSVAの教育支援を受けて学校で学んでいるタイのビンスワンさん（十二）ジャンナムさん（十二）に教育支援基金の目録を、上田市社会福祉協議会に車イス六台寄付の目録を贈呈させていただきました。

「コンサートには、NHK教育テレビの「おおかさんといつしよ」に出演中の落語家古今亭志ん輔さんや、同番組に以前出演していた坂田おさむさんらが登場し、会場のこどもたちは大はしゃぎ。こども向けの落語や歌、クイズなどで盛り上がった。」
 （信濃毎日新聞三月九日付）

おかげさまで基金として壹百壹万円余を贈呈することができました。最後に本コンサートを含めた記念事業に管内御寺院様には深い御理解と多大な御賛助を賜りましたことをこの場をおかりしまして厚く御礼申し上げます。

（全曹青顧問）
 桜井 朝教

「花まつり」アンケート集計報告

総合企画事業研修委員会発

このアンケートの設問構成は「お釈迦様」と「仏様」・「花まつり」・「お寺」そして最後に「青年僧」という形式になっています。

集計に当たっては、全設問に対しての回答が記述式になっておりますので、便宜上別表のとおりに分けさせていたいただき、又、最後の「青年僧」についての意見は、表形式にまとめられなかった為に集計表としては記載しておりません。

それぞれの設問に対しての回答は別表のとおりですが「花まつり」に關しては「お釈迦様」の誕生日という回答が、二十代から六十代では六割以上又、幼児から中学生では四割弱の方が回答していますが、それは、宗教関係の学校等に關わったということが多分にあるということをお含みおき下さい。それ以外の少数意見であるフラワーフェスティバル・花の祭典といった認識が一般の方には強く受け止めておられるように思われます。宗教関係の学校等に關わる

ことがなければ今後、「花まつり」という言葉のまま単に「花」をイメージし「お釈迦様」とは結びつかないものとなってしまふ恐れを感じさせられます。

「お寺」に關しての設問は、ほとんどの方が「行ったことがある」と回答されていますが八割近くの方は、仏事（葬儀・法事・墓参等）・観光となっております。

最後に「青年僧」についての意見をまとめてみますと、

「お金がすべてで、いい車に乗り遊びまわっている。もっと勉強をして仏に仕える者としての自覚を持って行動してほしい」「青年僧に会う機会がない」等。全ての青年僧がこのようではないにしろ、一般の人たちが、私たちの事をこのように見ているという事を真摯に受け止め青年会活動を充実したものに展開していくことが、肝要である。

花まつりアンケート集計表

1. お釈迦様はどんな方？

回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a. 仏教の開祖	21	30	14	5	5	75
b. わからない・その他	21	18	10	4	5	58
c. えらい人・やさしい人	11	8	2	2	1	24
d. 慈悲深い心の広い方	4	5	0	0	0	9
e. 雲の上の人	3	0	1	0	1	5
合 計	60	61	27	11	12	171

2. 仏さまはどんな方？

回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a. 心の広い方	8	4	0	1	1	14
b. 先祖・亡くなった方	10	19	3	2	4	38
c. 悟られた方	9	15	3	1	1	29
d. 人の苦を救う方	3	2	4	2	1	12
e. わからない・その他	30	29	17	5	6	87
合 計	60	69	27	11	13	180

3. 「花まつり」はどんなまつり？

	回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a.	お釈迦様の誕生日	33	43	20	8	10	114
b.	わからない・その他	21	16	7	2	4	50
c.	フラワーフェスティバル	6	0	0	1	0	7
d.	お釈迦様の命日	0	2	0	0	0	2
	合 計	60	61	27	11	14	173

4. 「花まつり」のおもいでは？

	回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a.	特にない	37	39	11	6	7	100
b.	甘茶・灌仏	13	10	14	4	3	44
c.	花御堂	9	5	1	0	0	15
d.	その他	3	8	2	1	3	17
	合 計	62	62	28	11	13	176

5. お寺に行ったことはありますか？

	回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a.	ある	59	60	27	11	9	166
b.	ない	1	0	0	0	1	2
	合 計	60	60	27	11	10	168

6. お寺は何をすところ？

	回 答	20代	30代	40代	50代	60代	合 計
a.	参拝・祈願	10	5	3	1	1	20
b.	仏事（葬儀等）	19	37	14	2	5	77
c.	修行	8	7	6	2	3	26
d.	自分を省みる	10	6	3	4	0	23
e.	観光・その他	13	16	4	2	1	36
	合 計	60	71	30	11	10	176

◎全国各地にお願いいたしました「花まつりアンケート」は、管区理事様、各管区委員によって回収に努めましたが、期日中に間に合わず残念ながら統計をお知らせするには至りませんでした。ここで紙面をお借りしまして深くお詫びを致します。しかしながら、まだ「花まつりアンケート」の回収率が低く、いまだ作業を続けている状態です。ここでまたもう一度「花まつりアンケート」の協力のお願いを致します。その他、ご意見や御感想なども結構です。よろしくお願い致します。

（左記へお送り下さい）

連絡先

〒一〇五〇〇一四

東京都港区芝二一五一二

曹洞宗宗務庁内

全国曹洞宗青年会

「花まつりアンケート」担当宛

☎〇三三三四五四一五四一一

1. お釈迦様をしていますか？

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	知らない	29	15	2	46
b.	やさしい人・えらい人	23	20	2	45
c.	仏教を開いた人	0	2	3	5
d.	その他	12	12	5	29
合 計		64	49	12	125

2. 仏さまってどんな人かな？

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	知らない	18	9	0	27
b.	やさしい人・えらい人	13	14	2	29
c.	亡くなった人	5	2	1	8
d.	守ってくれる人	7	8	1	16
e.	その他	19	13	8	40
合 計		62	46	12	120

3. お寺に行ったことがありますか？（どんな感じがしたかな）

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	ある	21	16	3	40
b.	ない	5	0	0	5
c.	こわかった・さむかった	6	6	0	12
d.	静か・大きくて広い	8	15	1	24
e.	その他	22	11	3	36
合 計		62	48	7	117

4. お寺は何をすところだろう？

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	お参り・お葬式	41	35	4	80
b.	坐禅・修行	2	6	2	10
c.	遊ぶところ	6	0	0	6
d.	わからない	13	4	1	18
e.	その他	8	13	1	22
合 計		70	58	8	136

5. 「花まつり」は何の日でしょう？

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	お釈迦様の誕生日	16	24	3	43
b.	知らない	33	16	4	53
c.	甘茶をかける日	1	6	0	7
d.	その他	12	1	0	13
合 計		62	47	7	115

6. 「花まつり」に行ったことがありますか？

	回 答	幼 児	小 学 生	中 学 生	合 計
a.	ある	31	27	2	60
b.	ない	31	18	5	54
合 計		62	45	7	114

禅文化学林

北海道大会

全曹青副会長 高階弘昭

平成十年度禅文化学林地方開催は三月十二日北海道札幌市にて開催され、テーマは昨年と同様「青年僧に望む」、基調講演は「ほとけの物差し」と題しひろさちや先生よりお話を戴きました。更に教育関係三人の先生方、宗門関係二名の方とひろさちや先生を交えて「教育」特に子供たちの様々な問題についてパネルディスカッションが行われました。

○ひろさちや先生は、世間の物差しと仏の物差しは此岸と彼岸の世界である。迷惑を掛けずに生きられない、且堪え忍んで生きていくしかない此岸の世界より仏の智慧で彼岸の世界に渡ろうというのが仏教の教えであります故に現在の学校・家庭教育・臓器移植・環境問題等は「諸法実相」でみるべきであり、それがほとけの物差しで見ることである。又解決策を示すのではなく、世間の物差しを捨て仏の物差しで見れるように、こういう生き方ができるんだよと示すのが宗教者であると講演。

○野田老師は、二十年間様々な子供

たちと禅寺の修行生活を取り入れて共同生活をし、見えてきたものは子供が悪いのではなく、それを取り巻く環境が悪い、子供は環境によって変わる。「核家族化・少子化」により団体生活ができなくなり、学校・社会不適應に苦しみ、親は過保護干渉となり沢山な物を与えてしまう。

しかし子供は喜ばないと述べられた。

○河合先生は、子供と係わり、①施策・専門機関と保育者両者の子育てマニユアル化、②貧しい生活の場合、人間関係（話し相手がいない）、③地域社会の崩壊（ある子供が事件を起こした時、住んでいた地域の住民の心的外傷をケアするシステムがない）、④弱者（高齢者、知的・身体障害者、子供、女性）の代弁者がいない。このような状況から子供を救うには家族・教育・児童福祉・医療のシステムの見直しが必要であると指摘された。

○鳥山先生は夫と妻の関係、親と子（親孝行）の関係を考えなければならぬ。問い直さなければならぬ。

子供は期待する親の喜びの為良いこぶる事に疲れ、又子供より教えられて親が自分の生き方を見直している。子供は「寂しい」、非常に寂しい為趣味を増やし、テレビゲームをした

りする。友達を作りたいけれど身体が伴わないため、心身症、うつ病になる。学校や親たちは子供に対する見方はこれでいいのか。子供の自殺・殺害、幼女連続殺害事件等関係の家族に対し、地域が支え、励まし、救いの手を差しのべなければならぬのによってたかつて袋叩きにし、地域の恥のように切り捨てて。こういう恐い世間、社会の現状を特に若者たちに対し、日本の僧侶の方は何を言っているのでしょうか。役割は何なのかと厳しく問われた。

○鳥崎老師は荒廃凄まじい「教育」を救うのは宗教心であり、慈悲心を持って行う。各先生方はそれを実践なさっている。私の役割は飛び込んでくる人の話を聞く事。青年僧は大いにPTA、教育の場に係わり、禅の集い等を行い地域社会に積極的に参加して欲しい。特に現在こそ叢林には「対大己法」など規矩があり、これを布衍すべきではなからうかのご意見。

○最後にひろ先生は現在の社会、学

校、家族、身を救うのは宗教心であり、宗教心とは人間の完全性を求めない。いつも弱い、間違っている人間を許してあげる心である。だから戒律がある。各先生方は慈悲心に生きておられるのもう行じてであると述べられました。

○現場に携わっておられる先生方の生の声を聞き「我々僧侶はこのままの生き方でいいのか」と考えさせられ、又日々の実践活動に対し宗教者の心を気付けさせ、目覚めさせて頂いたようです。

最後に今回の「禅文化学林」に対し地元北海道曹青皆様の多大なる御尽力等を賜り無事円成致しました事誠に深謝申し上げます。又この縁により北海道第一宗務所曹青皆様の全曹青加入の御協力を頂き、本当に嬉しく思います。

北海道各御寺院様青年会各位の御協力にて無事円成。
次号にて更に詳しく御紹介いたします。

全日本仏教青年会

全国大会 IN 神戸

去る一月十八日、全日本仏教青年会主催による全国大会が兵庫県神戸市、「神戸ポートピアホテル」を会場に開催された。

今大会は矢坂誠徳理事長の「風光日々新たなり」をメインテーマに、各宗派の仏教青年会をはじめ、海外からは世界仏教青年連盟のソンマイ会長をはじめ台湾、韓国、バングラディシユなどから十五名が来賓として参加され、総数二百三十名の参加があった。

記念講演としてNHK教育テレビの手話ニュースでおなじみの丸山浩路さんの「ナンパワーンよりオンリーワーン」と題し独創的な語りと振り付けで聴衆を引きつけていた。その後三つの分科会が行われた。



○第一分科会は「信仰」をテーマに「弔事から慶事へ」と題して全曹青の高橋事務局長が司会進行役をつとめられた。その中で全曹青は仏前結婚式を受け持ち、まず寿松木会長が「なぜ弔事から慶事なのか」を発表し、引き続き全曹青で作成したビデオ「仏前結婚式」を見ていただき、青少年教化研究委員会顧問の荒木正昭師よりこれまでの仏前結婚式への取り組みと今後の課題などが述べられた。

また浄土真宗本願寺派からは「ほとけの子」として生まれてきたことを喜び祝う「初参式」と浄土宗からは総本山知恩院で行われている成人式の様子がビデオを通じて、具体的な内容と活動が報告された。

○第二分科会では「救い」をテーマとして、はじめに神戸市長田区在住の三上愛さんが被災の状況を講演し、その後仏教青年会における救援活動のあり方と救援ネットワーク作りに向けた方法を探った。この内容は神戸新聞やマスコミにも取り上げられた。全曹青からは前顧問の吉川俊雄師がパネリストとして出席された。



○第三部会は「電腦―仏教とマルチメディア」をテーマに、愛知県立大学教授の小栗宏次先生が熱の入った講演をされ、インターネット時代の仏教者としての情報発信のあり方を考えた。各分科会も今の時代において実際求められ、取り組んでいる活動として大いに関心が高まっていた。また他宗派の教えと活動を幅広く知る上でも大変有意義な機会と大会であった。

全日本仏教青年会全国大会参報告

第二分科会テーマ「救い」

我々青年仏教者における救援活動のあり方とは？

阪神・淡路大震災の事例のもとに救援活動のあり方を探っていく。

講師 三上 愛さん

福岡曹青会長 山田 哲也

「あの時のことはもう忘れま
した。」が講師である三上愛さん、四
年前の震災当時十九才だった彼女の
第一声である。そして「忘れられる
からこそ人間は幸せなんだと思うん
です。」と続ける。

彼女はこの震災で、祖母と母親を
亡くし、弟と二人きりになってしま
った。茫然自失で見上げた鉛色の空、
絶望の色をこの時初めて知ったとい
う。そして、天を焦がし紅く染めな
がら迫る炎。明日はまた当たり前の
ようにやっていると信じていた彼女
にとって、とても信じられない光景
だったに違いない。倒壊した家の前
で住職にお経をあげてもらった時、
お経が人を救うことを感じ、哭くこ
とで自分が癒され、癒されることが

救いであると感じたという。十九才
としては重すぎる事件だった。

当時の様子を語り、母親や祖母の
ことにふれる度、涙ぐみそうになり
ながらも、朗らかに淡々と語ろうと
する彼女、その姿が彼女の痛々しさ
と強さを交互に映し出していたよう
に思う。そして四年の歳月が過ぎた
今必要に想うのは、暖かく励まし、
共に生きてくれる友達なのだという。
街が姿を取り戻しつつある今も、終
わってはいないことを改めて思い知
らされる言葉であった。

愛さんの講演の後、彼女を交え、
当時救援活動に当たった天台、真言、
浄土の各宗派青年会代表、曹洞宗か
らは当時会長だった古川師をパネリ
ストに迎えディスカッションが行わ

れた。活動報告と共にあげられた問
題点は、活動自体が独りの人間とし
てなのか、組織の中の独りなのか、
一青年僧であるのかによる立場の違
い。このことは組織として動くこと
の難しさを考えさせられたようであ
る。また活動に当たったの拠点づく
り、活動資金の確保の難しさが挙げ
られた。そして何よりも団体として
の救援活動の経験不足、緊急時の連
絡経路が確立されていないこと、救
援の為に組織が確立に至っていない
ことなどが挙げられた。今までの
組織も体験したことのない未曾有の
事故にあらゆる面での経験、準備不
足が露呈させられてしまったようだ
ある。これは国とても同様だったよ
うで、会場から、事故直後現場をへ

リコプターが飛び回るのがよく見ら
れたが、他の国では考えられないこ
とであり、緊急時の意志決定におい
ても命令系統が簡略化され、迅速に
対応ができるようになってきている事や、
ドイツなどでは緊急時の為、男性は
重機などの操作、女性は簡易看護な
ど一カ月の研修が義務づけられてい
ることが紹介された。

最後にこれらを鑑みて今後の組織
作りを行うことや、日常でのボラン
ティア活動の啓発、そして物量の救
援活動だけでなく心の救援活動とし
てカウンセリングの必要性が挙げら
れ、ここでも四年たった今も終わっ
ていない、終われないことを考えさ
せられた。

詳しく御報告して下さいまし
て有難うございました。



岩手県曹洞宗青年会

『聞いてわかる檀信徒法要 回向集』の御紹介

増刷について

平成九年十月三十一日出版の「聞いて分かる葬儀・回向集」は期待に反し反響が大きく、将来「改訂版」を出す方針に委員一同意を決した次第です。しかし、「改訂版」作成には暫くの時間を要する為、今回増版に関しては、誤字脱字等の修正に留め、表題を「聞いてわかる檀信徒法要回向集」に改めました。

また実際に使用されればお判り通り、語呂や、文学的間隔・韻、特に根本的仏教の意味合については、これからの研究課題ですので、地方の慣習、習俗を気にされず御意見や要望をお聞かせ頂ければ幸いです。

お問い合わせは

岩手曹青事務局

〒〇二一一

岩手県一関市山目字館六

円満寺まで

☎(〇一九一)三三二五三六九

曹洞宗専門
法衣・仏具
梅花流法具

株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中央区高倉通御池南入
TEL 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811
フリーダイヤル 0120-1455-07

寺院用品・法衣・袈裟・金襴・諸經典発行・佛壇・佛具

総合仏具店

中 居 堂

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目10番32号
代表電話/仙台022 (225) 4495番
FAX専用/仙台022 (225) 4490番

開蓮忌回向

み仏の教えは世界に満ちて、生きとし生ける者の心に深く入りたもう。

仰いで、仏・法・僧の三宝を冀い、伏して靈前を照らし給え。

上來、虔んで、諸々の供物を備え恭しく○○

經を讀經す、集むるところの功德は開蓮忌のちなみ

○靈位に回向す。願わくは心の華を開いて遍く世界を飾り、智慧の光、円かに輝いて、永く迷いの闇を破らんことを。

毎七日忌回向

円かなる、教えは遍く世界を照らし、生きとし生けるもの本来安樂なり。

初めて知る、我ら総てに、み仏の心あることを。

仰いで、仏・法・僧の三宝を冀い、伏して靈前を照らし給え。

茲に本月此日、恭しく、諸々の供物を備え、○○經を讀經す、集むる所の功德は、○○靈位○○忌に当たり、さとりの世界を清浄にす。

惟願くは、此の真理なる教えの力に因って、速かに、み仏の園に進まれんことを。

四十九日忌回向

教えを聴き行ふもの、一度なりといえどもこころより実践するならば、そのまま仏なり。

仰ぎ冀くは、大いなる慈悲の心を靈前に照らし給え。

茲に本月此日、恭しく靈壇を浄め、諸々の供物を備え、虔んで○○經を讀經す、集むる所の功德は、

○靈位に回向し、四十九日供養のちなみ、さとりの世界を清浄にす。

惟願わくは、直に、夢まぼろしの身をはなれ、速かに、み仏の世界に安住せんことを。

編 集 後 記

○皆様方の御協力を頂戴いたしましたし、二年間の広報委員長の任を全うすることができました。この間、全国の各御寺院様からの激励の御手紙、御電話等いただきました誠に有難うございました。

○「第三種郵便」を申請し、これまでの「曹青通信」を変えることは、色々と迷いがありました。しかし、「そうせい」が、年四回全寺院に発送されることにより、全国の曹青の連携をさらに強化できるのです。また、青年宗侶の教化活動を推進する上で貴重な情報の提供紙となるのです。そして、おそらく、その果たす役割は、今後、非常に大きくなると考えられます。

○賛助会員の御寺院様、また、広告を出していただいている業者の方も更に御協力いただきました。平成七年度から見えますと年々賛助して下さる方々の数が増えております。執行部、役員一同これ以上の励みはありません。誠に有難うございました。

○最後になりましたが、連載していただきました太田先生をはじめ、本庁教化部長老師、発送作業に関

しては、城内郵便局、東長寺檀信徒の皆様、平印刷様には、厚く御礼申し上げます次第であります。「そうせい」が、今後益々より充実し、すばらしい曹青の情報源となるよう祈念申し上げ編集後記とさせていただきます。二年間本当にありがとうございました。



岩手県焼石岳、カサマツ草
表紙・写真は岩手県種市町
中里光男氏提供。

寺院用佛具・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 光

本店・工場	〒940-0825	長岡市高畑町617番地	☎(0258)33-5644
新潟店	〒951-8142	新潟市関屋大川1-11-2	☎(025)233-4493
川越店	〒350-1124	川越市新宿町1-23-2	☎(0492)44-7741
高崎営業所	〒370-0046	群馬県高崎市江木町1179-2	☎(027)324-3721
長野営業所	〒380-0911	長野県長野市稲葉1980-1	☎(026)222-3811

発 行 所

全国曹洞宗青年会

〒105-8544 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内

発行責任者 寿松木 宏 毅 編集責任者 東 井 千 明

T E L 03-3454-5411 定価100円

郵便振替 00110-1-130539

全国曹洞宗青年会